

鹿児島県知事表彰「スポーツ部門」 鹿屋体育大学から10名受賞!!

国際大会・全国大会等で顕著な成績を収め、鹿児島県のスポーツ振興に貢献した選手を表彰する鹿児島県知事表彰「スポーツ部門」で、鹿屋体育大学からも学生10名が表彰されました。表彰式は2月4日に鹿児島県庁で行われ、三反園訓知事から受賞者へ表彰状等とともに激励の言葉が贈られました。一部の学生は授業等が重なり残念ながら出席できませんでしたが出席した学生らは受賞の喜びを胸に、誇らしげな表情で表彰を受けていました。

受賞式後カヌー部元キャプテンで4年生の柚野秀斗さんは「鹿児島県知事表彰という素晴らしい賞をいただくことができたうれしく思います。大学への入学を機に鹿児島県にやってくる4年間、鹿屋体育大学の皆さんを始め地域の皆さんに支えられてこのような結果を残すことができた。今年の鹿児島県国体では、カヌー部の後輩のみんなが先頭に立って結果を残してほしいと思います」と感謝の言葉と後輩への期待の言葉を述べました。

【鹿児島県知事表彰「スポーツ部門」受賞者（本学関係）】		
区分	種目	氏名 功績
個人	カヌー	柚野 秀斗 2019年度日本カヌースプリント選手権大会男子カナディアンフォア500m 優勝
		森 愛奈 2019年度日本カヌースプリント選手権大会女子カヤックペア200m 500m 優勝
		林 田 薫 2019年度日本カヌースプリント選手権大会女子カヤックペア500m 優勝
		田原 瞭太 2019年度日本カヌースプリント選手権大会男子カヤックペア200m 優勝
		橋 沼 新 2019年度日本カヌースプリント選手権大会男子カヤックペア200m 優勝
	ボート	四方 美咲 第97回全日本選手権大会ボート競技軽量級女子ダブルスカル 優勝
団体	カヌー	谷口 智佳子 第97回全日本選手権大会ボート競技軽量級女子ダブルスカル 優勝
		田原 瞭太 2019年度日本カヌースプリント選手権大会男子カヤックフォア500m 優勝
		森 黒開
		安藤 久騎
		下川 拓樹



受賞したカヌー部のみなさんと顧問教員の中村夏実准教授



編集・発行／
公益財団法人 鹿屋体育大学
体育・スポーツ振興教育財団
〒891-2393 鹿児島市白水町1番地
鹿屋体育大学内
0994-46-4827 (直)
編集兼発行人 風呂井 敬

令和元年度 「競技成績報告会」を開催

鹿屋体育大学及び本財団主催による令和元年度「競技成績報告会」を2月13日に開催しました。この会は、令和元年度に優秀な成績を収めた学生の健闘を讃えるとともに、日頃ご声援をいただいている学内外の支援者に対し、感謝の意をこめて競技成績の報告を行うために毎年開催されているものです。

会は松下雅雄学長から日ごろのご支援への感謝と学生のさらなる活躍を期待する挨拶で始まりました。続いて中野健作鹿屋市教育委員会教育長による来賓挨拶では、2020東京オリンピックやかごしま国体での活躍に期待を込めて、2024アテネオリンピックの競泳800m自由形で金メダルに輝いた柴田亜衣さんの当時のエピソードが紹介され、学生たちへエールを送りました。最後に主催者である当財団風呂井敬理事長から乾杯の発声で和やかな雰囲気の中、懇親会がスタートしました。乾杯後に

は、各課外活動団体顧問団主催による令和元年度の「競技成績報告会」を2月13日に開催しました。この会は、令和元年度に優秀な成績を収めた学生の健闘を讃えるとともに、日頃ご声援をいただいている学内外の支援者に対し、感謝の意をこめて競技成績の報告を行うために毎年開催されているものです。会は松下雅雄学長から日ごろのご支援への感謝と学生のさらなる活躍を期待する挨拶で始まりました。続いて中野健作鹿屋市教育委員会教育長による来賓挨拶では、2020東京オリンピックやかごしま国体での活躍に期待を込めて、2024アテネオリンピックの競泳800m自由形で金メダルに輝いた柴田亜衣さんの当時のエピソードが紹介され、学生たちへエールを送りました。最後に主催者である当財団風呂井敬理事長から乾杯の発声で和やかな雰囲気の中、懇親会がスタートしました。乾杯後に



競技成績優秀者の紹介



学生代表のあいさつ



一般社団法人デンソー・オーパインス・カレッジの今村潤代表理事を囲んで



中野教育長からの鹿屋市スポーツ奨励金贈呈

令和元年度に日本ラグビーワールドカップが開かれた。日本ではメジャーでない競技がやっと世間に注目された。世界も驚いたが日本でも驚愕ものだ。なんかわれい。息子が鹿屋大OBの先生にラグビー部へ勧誘されてから、子どもたちの試合を見るたびにルールを覚えてきた。拮抗した試合は特に応援し甲斐があった。1年前に社会人の試合を見る機会があった。会場はガラガラで動員された保護者も多かった。ラグビー界では有名な選手もいたらしいが、当時は知る由もない。でも試合は拮抗して、簡単には得点させない。ディフェンスに感服し、ラグビーの醍醐味を感じた。▼ワールドカップは当初からテレビ中継を楽しみにしていた。ルールがなんとなく判ってきたので、解説のあるテレビ観戦でも十分楽しめた。先述の先生は現地観戦のために多額の出費をしたようだ。高校の県大会では見るものがなかった「ジャッカル」はこの時知った技である。若には「わかファン」が一気に急増した。ようやくラグビーが人気スポーツへ変わった。▼息子は進学後もラグビーをするつもりらしい。彼は代表選手ではなく競技そのものに魅力を感じている。そして僕はこれからはビール片手に観戦する。▼今回人気が出たラグビーには、今後も魅力あるスポーツであり続けてほしい。鹿屋大OBの先生には感謝でいっぱいだ。(K・T)

令和元年度に日本ラグビーワールドカップが開かれた。日本ではメジャーでない競技がやっと世間に注目された。世界も驚いたが日本でも驚愕ものだ。なんかわれい。息子が鹿屋大OBの先生にラグビー部へ勧誘されてから、子どもたちの試合を見るたびにルールを覚えてきた。拮抗した試合は特に応援し甲斐があった。1年前に社会人の試合を見る機会があった。会場はガラガラで動員された保護者も多かった。ラグビー界では有名な選手もいたらしいが、当時は知る由もない。でも試合は拮抗して、簡単には得点させない。ディフェンスに感服し、ラグビーの醍醐味を感じた。▼ワールドカップは当初からテレビ中継を楽しみにしていた。ルールがなんとなく判ってきたので、解説のあるテレビ観戦でも十分楽しめた。先述の先生は現地観戦のために多額の出費をしたようだ。高校の県大会では見るものがなかった「ジャッカル」はこの時知った技である。若には「わかファン」が一気に急増した。ようやくラグビーが人気スポーツへ変わった。▼息子は進学後もラグビーをするつもりらしい。彼は代表選手ではなく競技そのものに魅力を感じている。そして僕はこれからはビール片手に観戦する。▼今回人気が出たラグビーには、今後も魅力あるスポーツであり続けてほしい。鹿屋大OBの先生には感謝でいっぱいだ。(K・T)

令和元年度に日本ラグビーワールドカップが開かれた。日本ではメジャーでない競技がやっと世間に注目された。世界も驚いたが日本でも驚愕ものだ。なんかわれい。息子が鹿屋大OBの先生にラグビー部へ勧誘されてから、子どもたちの試合を見るたびにルールを覚えてきた。拮抗した試合は特に応援し甲斐があった。1年前に社会人の試合を見る機会があった。会場はガラガラで動員された保護者も多かった。ラグビー界では有名な選手もいたらしいが、当時は知る由もない。でも試合は拮抗して、簡単には得点させない。ディフェンスに感服し、ラグビーの醍醐味を感じた。▼ワールドカップは当初からテレビ中継を楽しみにしていた。ルールがなんとなく判ってきたので、解説のあるテレビ観戦でも十分楽しめた。先述の先生は現地観戦のために多額の出費をしたようだ。高校の県大会では見るものがなかった「ジャッカル」はこの時知った技である。若には「わかファン」が一気に急増した。ようやくラグビーが人気スポーツへ変わった。▼息子は進学後もラグビーをするつもりらしい。彼は代表選手ではなく競技そのものに魅力を感じている。そして僕はこれからはビール片手に観戦する。▼今回人気が出たラグビーには、今後も魅力あるスポーツであり続けてほしい。鹿屋大OBの先生には感謝でいっぱいだ。(K・T)

わかファン



ミズノスポーツ振興財団は、
スポーツの振興・普及を目指し、
スポーツを愛する人たちを応援しています。



公益財団法人
ミズノスポーツ振興財団



2020年
ミズノスポーツ振興財団は、
創立50周年を迎えました。

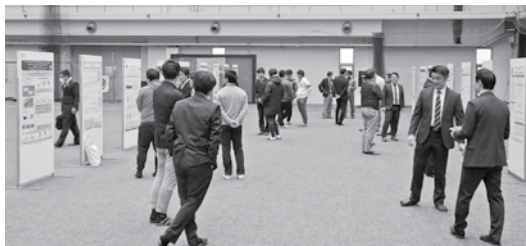
スポーツパフォーマンス研究センター
協力者会議を開催

鹿屋体育大学で2月4日、令和元年度スポーツパフォーマンス研究センター（以下「SP研究センター」）協力者会議が開催されました。同会議は、SP研究センターが行う研究に関して、専門知識を有する学識経験者及び競技経験者から意見を求めるために開催するものです。

今回は、「スポーツパフォーマンス研究の実際と今後への提言」というテーマで札幌国際大学的小林秀紹教授が講演をしました。その中で、統計をもとにした従来からの研究に加えて、個別事例や現場の実践知を重要視した研究を進めるべきだということや、SP研究センターに來れば、アシリートが自身のパフォーマンスについてわかりやすく理解できるよう今後工夫して欲しいなど今後の提言についても話がありました。

後半はアリーナに移動して、センター教員ほか同大学学生らによる「SP研究センターからの報告」と題して、研究・事業報告についてのポスター発表の場を設けました。その場にいるポス

ター発表者は、質問を受けた内容について直接議論することができ、有意義な時間を過ごしました。



生涯スポーツ実践センター協力者会議を開催

鹿屋体育大学で2月7日、令和元年度生涯スポーツ実践センター協力者会議が開催されました。同会議は健康づくりや生涯スポーツの普及・振興を目的として、専門知識を有する学識経験者の方々から広く意見を求めるため、毎年1回開催しています。

大学と地域の連携が求められている社会情勢を鑑み、鹿屋体育大学では、国立唯一の「体育専科大学」として、研究・教育だけでなく、大学スポーツを通して地域貢献への取組が近年活発になってきています。会議では「大学のスポーツ資源を活用した地域振興の可能性」をテーマに、スポーツ庁参事官（地域振興担当）の増井国光氏より「大学スポーツを活用した地域振興に

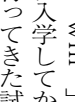
ついて」、日本航空株式会社
総合政策センター地域活性化
推進部・マネージャーの大槻
政直氏より「武道ツーリズム
への取り組みと可能性」、大
阪体育大学教授の富山浩三氏
より「大阪体育大学の社会貢
献事業」、株式会社スポーツ
リンクアンドシェア代表取締役
役の川前真一氏より「大学開
放型スポーツイベントへの取
組み」事例報告」の演題報告
でそれぞれの立場から事例報
告が行われました。大学が商
店街を巻き込んでクーポンを
発行し、収益を上げている事
例等もあり、大学と地域とが
連携して地域振興の好循環を
生み出す仕組みづくりについ
て、改めて考える貴重な機会
となりました。



ダンス発表会を開催

2月6日、鹿屋体育大学の水野講堂を会場として後期開講の「ダンス」受講者による、ダンス発表会が実施されました。この発表会は、「ダンス」を履修している学生達が授業で学んだことを生かし、その集大成を発表会の形で披露するものです。

「loss or win」は、大学に入学してから4年間で行ってきた試合（GAME）を題材に、試合前の緊張、試合中のがむしやらかな様子、試合後の喜びと失望感をダンスで表現していました。



り上がっていました。学生ならではのアイデアが詰まった演技や、エネルギーでパワーあふれるダンスに、会場は拍手に包まれました。



オープニング「南中ソーラン節」



キュンキュンしてみませんか？

「令和元年度学長と指導教員、留学生との懇談会」を開催

鹿屋体育大学で1月15日、「学長と指導教員、留学生との懇談会」が開催されました。この懇談会は、留学生の日頃の勉強や研究の状況、悩みや要望について、学長及び理事、指導教員へ伝えることで、より良い留学生活が送れるようにと毎年開催しています。

学長や理事、教員とリラックスした雰囲気でお話を交わし、勉強や研究活動、課外活動の様子などを報告していました。

留学生からは大学の近隣に飲食店が少ないことや、週末に学生食堂が営業していないことが生活上の悩みとしてあげられ、大学からは留学生や

初めに松下雅雄学長から「この機会に悩みや要望はもちろんのこと、大学の良い点についても意見を聞かせてほしい」と挨拶がありました。懇談会に参加した留学生やチューターは、普段は直接話をする機会の少ない学長及び理事、指導教

員、留学生、チューターがそろって直接会話できる本懇談会は、参加者に



から激励の言葉をいただきました。



すべての消費者のために!!

MOVE
It's a Summer Festival
寿スポーツ

島の宝
V
124-11034

鹿屋市礼元1丁目3番5号
TEL 0994-44-2123

鹿屋農業高校

R 269

寿自動車学校

ドラッグイレブン

寿スポーツ

**汲取の御注文
浄化槽の管理**

**水質保全に
全力投球**

鹿屋市 西日本浄化サービス
株式会社 代表取締役 田中ふみ子
鹿屋市王子町4531-2
TEL(0994) 43-3425

あなたの町に、レモンガス

株式会社 **レモンガス** かこしま
鹿屋支店

鹿屋市大浦町11423番地1
0994-42-2181



県内の保健体育担当教員と運動部活動指導者等を対象に 令和元年度スポーツ リフレッシュセミナーを開催！

1月30日、31日に競技力向上を担う指導者としての資質向上を図ることを目的に、毎年開催しているスポーツリフレッシュセミナー（鹿児島県教育委員会・鹿児島県立中央高等学校・鹿児島県立高等学校・鹿児島県立高等学校・鹿児島県立高等学校）が、このセミナーは中学校・義務教育学校・高等学校等の保健体育担当教員や運動部活動指導者等を対象とした体育・スポーツ及び健康に関する専門的知識や最新のトレーニング法についての研修で、今年度は22名が参加。90分の講義5コマと実技指導が2時間、グループ討議1時間と充実の研修日程が組まれ、鹿児島県立中央高等学校の教員が講師を務めました。

スポーツトレーニング研究センターのセンター長である山本正嘉教授は「トレーニング概論」と題した講義で、科学的なトレーニングとは一日にどれだけ精密機械等がなくても紙一枚から始められると話ししました。また、同センターの高井洋平准教授は、スピードやパワーのトレーニングは年齢や強度、個人の体格などさまざまな要素が絡みあっていることを多くの

データを示して説明し、一人ひとりの個性と向き合った指導が将来に結びつくことの大切さも含んだ講義となりました。藤田英二准教授は「スポーツ障害の予防と対策」の講義で、正しいストレッチ方法を実践しながら説明し、形だけのストレッチにならないように

に常にとの筋肉が伸びているかを意識することが重要であることを伝えました。2日間のセミナーの最後には、スポーツ心理の講義を担当した幾留沙智講師とスポーツ栄養の講義を担当した長島未央子講師を含めた5名が参加した意見交換会が行われ、大変有意義なセミナーとなりました。



山本教授による「トレーニング概論」の講義



台車を使った体幹トレーニングを実践



正しいストレッチを実践



意見交換会の様子

1月26日に鹿児島県立中央高等学校において、第6回大学説明会が開催され、16名の参加がありました。この説明会は、大学進学希望者の多い鹿児島地区の高校生を主な対象として、同大学への理解を深めてもらうと、年7回開催されています。当日はまず、同大学の長島講師から大学の概要説明があり、その後、教職員による個別相談が行われました。個別相談においては、同大学一般入試前と、同大学一般入試後と、高校3年生の参加者から入試や部活動の中心に熱心な質問が寄せられました。

また、アンケートの結果も「大学の詳しい活動等が理解できた」「大学の雰囲気や伝わりやすさ」等、参考になる情報が多かった。感想が寄せられるなど、おおむね好評であり、参加者にとって意義のある大学説明会となったようです。

また、アンケートの結果も「大学の詳しい活動等が理解できた」「大学の雰囲気や伝わりやすさ」等、参考になる情報が多かった。感想が寄せられるなど、おおむね好評であり、参加者にとって意義のある大学説明会となったようです。



大学概要説明の様子

第6回 東京サテライトキャンパス 大学説明会を開催

1部は地震による火災が発生した想定で、避難が実施されました。前半では自衛消防隊長の中村夏実センター長が指揮により、センター職員が通報・連絡、避難誘導、警備等の各任務にあたり、防火管理である鴨田保施設課長の立会いのもと訓練が行われました。後半の消火訓練では、消火器の取扱説明の後、海洋スポーツ

2部は地震による津波が発生した想定で、海洋スポーツセンターから約1.2km離れた高台への避難訓練が行われました。参加した教職員及び学生は、実際に走って避難経路と途中の民家等の状況を確認しました。最後に中村センター長から「今回の訓練で避難経路を理解できたと思います。災害が起きた場合は、地域の



海洋スポーツセンターで 防災訓練を実施

鹿屋体育大学海洋スポーツセンターで、2月12日、防災体制の徹底、自衛消防組織における任務の確認、教職員及び学生の防災意識の高揚を図ることを目的に、2部構成で防災訓練が行われました。

2部は地震による津波が発生した想定で、海洋スポーツセンターから約1.2km離れた高台への避難訓練が行われました。参加した教職員及び学生は、実際に走って避難経路と途中の民家等の状況を確認しました。最後に中村センター長から「今回の訓練で避難経路を理解できたと思います。災害が起きた場合は、地域の

住民の方の手助けなど、自分ができることを考えながら、行動ができるようになってほしい」との講評がありました。

課外活動団体紹介



サッカー部

サッカー部は1期生入学年度である1984年に設立されました。当初の部員はたったの6名だったそうです。井上尚武前監督から歴史は刻まれ、今では部員100名弱の全国大会常連校とまで成長することができました。

現在は塩川勝行監督のもと、チームを3つに分けて、それぞれ九州大学リーグ1部、九州社会人リーグ、鹿児島県社会人リーグ1部に参加し、皆に試合機会のチャンスがある環境です。また、最近では主務や分析、コーチ、トレーナー担当などオフザピッチで活躍してくれる学生も増えてきました。チームで一致団結をし、技術力向上・チーム力向上を目指しています。

サッカー部では、社会貢献活動の一環として、小学生向けや園児向けのサッカーイベントの開催、幼稚園や保育園等を周り園児に身体を動かす楽しさを伝える巡回指導を行っています。加えて、競技者自身も選手としてだけではなく、九

州大学サッカーを盛り上げるべくイベントやSNSを活用した告知、広報にも精を出し頑張っている所存でございます。

これまで、プロ選手（Jリーグ）をはじめ、JFL、地域リーグに数多くの選手を輩出すると同時に、Jリーグクラブスタッフや下部組織コーチなどのサッカー関係やスポーツインストラクター、学校教員、大手企業などさまざまな分野で活躍するOBも輩出してきました。

鹿児島県サッカー部の今年のスローガンは「熱烈峻厳」です。ねつれつしゅんげんと読み、情熱を込めて事に当たり、何があっても絶対に譲らない厳しさをもつという意味です。このスローガンのもと、まだ一度も成し遂げていない「全国優勝」に向かい、私達は応援して下さる方々に感謝し、全国大会で良い結果を残し鹿児島という名をより多くの人に知ってもらうために、日々精進していきます。

企業説明会用ブース

Before

After

変わる！
魅せる！

ディスプレイで(差)がつく!!

★会社イメージの向上 ★スムーズな営業 ★統一感でさらなる魅力アップ

株式会社 新生社印刷

URL <https://www.shinsei-p.co.jp> 鹿児島県鹿屋市礼元1-22-34

E-MAIL kan@shinsei-p.co.jp TEL 0994(43)2238(代)

「視覚」「触覚」が「記憶」に残る

印刷物へ
新たな
付加価値を

SUGOHAKU

パッケージ・パンフレット・ポスターetc.、
ご活用いただけます。

厚盛デジタル加飾システム

厚盛クリアニスによるリアルなテクスチャ感

厚盛デジタル加飾により盛り上がった箔加工

鹿屋体育大学学生食堂で 学生宿舍会もちつき大会を実施

1月25日、鹿屋体育大学学生食堂で学生宿舍会の主催による「もちつき大会」が実施されました。学生宿舎会では、学生宿舎の自治組織で、共同生活に必要なさまざまな活動を行っています。もちつき大会は、入居者間の交流を深めることを目的に、学生食堂の協力のもと毎年実施している交流イベントで、運営はすべて学生が行っています。

当日は、リニューアルしたばかりの学生食堂にビニールシートを敷き、この日のために大きな臼と杵を用意され、学生たちの元気な掛け声のもと、ほとんど休む間もなく



鹿屋体育大学公開講座 バレーボール・ウィンター・キャンプを開催

2月1日、2日の2日間、鹿屋体育大学公開講座「バレーボール・ウィンター・キャンプ」が、鹿児島県内の小中学生40名の参加者と多数の保護者が見学する中で開催されました。講座では、年齢や経験のレベルなどで少人数のグループに分かれて技能学習やミニゲームが行われました。例年寒い中で開催される冬の公開講座ですが、今年も2日間とも穏やかな天候に恵まれ、会場の球技体育館には一段と元気で活気にあふれた声が響いていました。



同日は、リニューアルしたばかりの学生食堂にビニールシートを敷き、この日のために大きな臼と杵を用意され、学生たちの元気な掛け声のもと、ほとんど休む間もなく

ら生活面までサポートしたメンバーの一人・田部咲来さん（スポーツ総合課程3年）は、「講座を通して子ども達と接していると、改めて感じる」とや新たな発見がありま

台湾の高校女子バスケットボール強豪校 鹿屋体育大学で合同練習を実施

1月10日から1週間の日程で、台湾における高校女子の強豪校である南山高中学女子バスケットボールチームが鹿屋体育大学を訪問し、同大学女子バスケットボール部との合同練習を行いました。今回の交流は、鹿屋体育大学女子バスケットボール部が台湾に強化練習を求め、多くの高校や大学のチームと強化練習を行った際の交流がきっかけで実現しました。

来訪の挨拶を受けた松下雅雄学長は「高校生と言っても強豪校と聞いている。お互いに刺激を合せて充実した時間を過ごしていただきたい。今後も交流が続くことをぜひ期待します」と激励の言葉をかけました。南山高中学の李陸毅監督は「今回



鹿屋体育大学の学食でラーメンフェアを開催

1月28日～30日の3日間、鹿屋体育大学学生食堂でラーメンフェアが開催されました。学生食堂では毎回好評のカレーフェアやランチバイキングなどのイベントを開催していますが、ラーメンフェアは今回が初めて。極太麺にこってりした味噌豚骨のスープがからむ「味噌豚骨つけ麺」、鹿屋体育大学オリジナルでボリュームたっぷりの「どっかんラーメン」、支那そばのようにあつさ



450円のどっかんラーメン！

鹿屋体育大学 卒業生の皆様へ

本紙は主に在校生の活躍や母校における行事等を掲載してきておりますが、卒業生のご活躍も掲載可能です。（紙面の都合により掲載できない場合もございます。）ぜひ全国各地でご活躍されている先輩方の情報も発行元又は大学広報係までご連絡ください。

また、卒業時に届けられたお名前、住所やアドレス等に変更が生じた方は、ご連絡ください。

今後とも本財団及び鹿屋体育大学をよろしく願います。

学内行事（令和2年4月）

- 1日 新入生・第3年次編入生オリエンテーション
英語ブレイスメントテスト（1年次）
健康診断（～6日）
- 2日 在学生ガイダンス（2年次以上）
小クラス懇談会（2年次以上）
- 3日 新入生オリエンテーション
大学院在学生ガイダンス
関連実技科目ガイダンス
- 4日 新入生合宿研修（～5日）
- 6日 入学式

闘いのスケジュール 4月

- 1日・第96回日本選手権水泳競技大会（～8 東京/東京アクアティクスセンター）
- 17日・第74回全日本体操競技個人総合選手権大会（～19 東京/武蔵野の森総合スポーツプラザ）

- 6日 新入生及び保護者とクラス担任との懇談会
大学院新入生オリエンテーション
- 7日 授業開始
履修登録期間（～20日）
- 24日 競技力向上の会
- 30日 研究題目届・学位論文変更届提出締切（修士）
論文主題・研究計画書・博士論文作成計画書提出締切（博士）
- 上旬 日本学生支援機構奨学金申請説明会（給付奨学金・貸与奨学金）

- 18日・2020年度全日本学生ロードレース・カップ・シリーズ第1戦（～19 長野/飯山市）
- 25日・第36回全日本学生選手権個人ロードレース大会（群馬/群馬サイクルスポーツセンター）

ありがとうございます

賛助会費は、奨学金、国際交流、学内研修等に利用させていただきます。心から感謝申し上げます。

《一般》
カイコー(株)様（三万円）

事務局から

本財団の賛助会員制度は、平成元年四月に発足しました。年会費（寄付金）は一口企業三万円、個人一万円からです。本財団は、公益財団法人として認定されています。本財団に対する年会費（寄付金）につきましては税法上の優遇措置があり、二万円を超えるご寄付につきましては、その超える額について所得税の寄付金控除の対象となります。※年会費は、振り込みもしくは現金で受け付けております。振り込みの場合は、次の金融機関へお願いいたします。

・鹿児島銀行 鹿屋支店
（普）九三二〇六七

・鹿児島興業信用組合 西原支店
（普）三五八二二一

・鹿児島相互信用金庫 西原支店
（普）〇〇四三八〇

ハコ座名義
公益財団法人 鹿屋体育大学

体育・スポーツ振興教育財団
理事長 風呂井敬

本財団の活動の趣旨をご理解いただき、関係各位の格別なる御高配をお願い申し上げます。

